

# じ ん だ い

第82号

2026.1.22 (木)

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151  
URL [www.kichijoji-hospital.com](http://www.kichijoji-hospital.com)



## 基本理念

患者様やご家族の側に立った医療  
患者様の社会復帰を目指す医療  
全職員相互の力を発揮できる医療

## 原藤名誉院長 祝100歳 記念号



令和7年12月12日 忘年会ご挨拶

## Contents

新年のご挨拶 .....	2
【連載】本能寺からお玉ヶ池へ ～その㉕(続)～ .....	6
原藤名誉院長の100歳お祝い投稿集 .....	8
外来担当表 / 当院略図 / 編集後記 .....	12

# 新年のご挨拶



理事長・院長 塚本 一

あけましておめでとうございます。

昨年も日本や世界が大きく揺れた1年になりました。日本では最大与党の自民党が衆議院、参議院両院で過半数割れとなり、公明党との連立が解消され、維新との連立によりどうか政権が維持されています。また日本で初めての女性総理、高市早苗氏が誕生しました。

世界に目を向けるとロシアウクライナ戦争は今だ終わらず、アメリカのトランプ大統領は諸外国に突然高関税を一方的にかけるなど不安定な情勢が続いています。

医療の世界も相変わらず不安定であり、昨年11月には東京都知事が上野賢一郎厚生労働大臣に診療報酬を上げなければ、医療が崩壊すると声を上げました。都内病院の経営実態調査では、令和6年度の赤字病院の割合は67.9%で年々悪化しており、診療報酬を10%上げる必要があると都知事が国に提言してくれました。

以前から私は「東京での医療経営は厳しい。

なぜなら診療報酬は全国一律でどこで医療を受けても同額だが、東京は人件費、土地、経費が全国一高く、収入が同じで支出が多い。東京ではとても経営は成り立たない」と訴えてきました。

現実に病院の閉鎖が目立つようになり、やっと都民も問題に気づきつつあるのかもしれない。

私個人としては昨年一番大きかったニュースは吉祥寺病院労働組合が解散したことです。

吉祥寺病院は私の父である塚本金助が創設しました。開設以来父が多く部分を引っ張ってきましたが、昭和56年8月に突然亡くなりました。その後母が理事長になりましたが、母は専業主婦であったため、医療経営には明るくありませんでした。将来への不安や現場での不満が高まり、父の死後6年たった昭和62年11月に突然東京医労連傘下の労働組合ができ、社会保険中央総合病院で内科医として働いていた私は急遽吉祥寺病院へ呼び戻されました。

私にとっても労働組合との交渉は初めてのことであり、相手の言い分を聞き誠実に対応しようと心がけました。組合ができた頃は、お互い良い病院を創るという方向で話が進んだのですが、組合ができて6年を経過した頃より上部団体である東京医労連の意向が強くなってきたように感じました。平成5年には病院と組合とでは話が進まず、医労連傘下の組合が一斉に地方労働委員会に斡旋をかける事態となりました。

その頃は人件費が全収入の70%を超えており、このままでは病院が倒産するとの危機感が私の中で高まりました。今までのやり方を考え直す必要があるだろうと思い、労働問題に強い

弁護士に入ってもらい、平成6年3月に老人保健施設開設に伴う合理化・近代化の提案をしたところ、労働組合が不当解雇であると激しく反発し大闘争となりました。約4か月続いた激しい闘争も、老健は新設するが、合理化は見合わせると言う形で終結しました。この大闘争を境に潮目が変わり、院内が徐々に落ちついていったと思います。

平成11年に私が院長になってからは組合との闘争で学んだ「職員の生活を守り、やりがいのある職場を創る」ことに力を注いできました。

院長になり26年間、そのことを中心に努力していたところ、昨年7月31日労働組合が解散しました。

解散の理由は自主運営が困難になったとのことでした。私が院長になって26年間で職員数は3倍ほどにのびましたが、年々組合員は減っていたようです。労働組合が必要ない病院に成長できたのではと考えています。

東京での病院経営は相変わらず大変ですが、この頃は地方でも大変なことが起こっているようです。少子高齢化・人口減少が進む日本でのような医療が本当に必要なのかみんなで考えないといけない時代になったのだと思います。

これからも必要とされる精神科病院を目指して頑張りたいと思いますのでよろしくお願いたします。

#### 〈追伸〉

今年原藤名誉院長は100歳とされます。

原藤先生は、私の父の時代には副院長として医療全般を取り仕切り、父が亡くなってからは18年間院長として当院を支えてくださいました。

原藤先生が院長の時に労働組合ができ、初めての団交の前に武蔵境駅前の喫茶店でどう対応しようかと2人で相談したことを思い出します。

原藤先生はやさしく穏やかな方なので、私の父とも私ともうまく関係を構築できたのだと思います。父が病院で倒れた時は、私はまだ大学4年生で友人と海へ遊びに行っていました。母から連絡が入り急いで父が入院した杏林大学救命救急センターへ向かったのですが、夜になっても父と面会できませんでした。一緒に待っていた原藤先生のことを母は気にして、もう今日は帰りましょうと話したところ原藤先生は「院長は寂しがり屋だから一目会ってから帰りましょう」とおっしゃってくださいました。

その後父と会え、いろいろ指示を受け、自宅へ帰った真夜中の急変で父は亡くなりました。あの時原藤先生が「会ってから帰りましょう」と提案してくださらなければ、私は父と最後に話すこともできなかったといつも感謝しております。



患者さんの干支の作品



## 新年のご挨拶

～ 原藤先生の 100 歳記念に寄せて ～



看護部長 吉田 智世子

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。今回は原藤先生の100歳記念特集号ということで、原藤先生とのエピソードをお話しさせていただきます。

私が吉祥寺病院に就職して16年になりますが、最初に勤務したのがB1病棟でした。勤務して数日後、初めてお会いした時に、ベテランのN准看護師に新入職員として紹介されました。N准看護師が私の前職について話したところ、原藤先生が共通の話題を振ってくださり、気さくにお話しさせていただいたのを覚えています。

その翌年、私はA4病棟に異動となり、原藤先生の担当患者様はいらっしゃらないものの、準夜帯にデイルームに出没し漫画を読んでいると、多くのスタッフから報告を受けました。数々の武勇伝をベテラン看護師たちから聞かされておりましたので、準夜帯も院内をラウンドして、私たちの困りごとを解決しに来てくださっているのか、漫画の続きが気になってたびたび現れていたのかは、いまだに聞けずじまいとなっています。その当時、A4病棟で心理教育のグループを立ち上げることとなり、医局会にて説明をさせていただきました。グループの構造など不明瞭な部分もあり、医局の先生たちにはうまく伝わらなかったかもしれないのですが、原藤先生より、「医療者が指導したりするよりも、患者同士で話し合いをしたほうが何倍も理解が深まるものだ」とのお言葉をいただき、晴れてグループを開始することができ、一昨年よりA2病棟でも開始して、2つの救急病棟で心理教育が継続できています。

また、当院は患者様のレクリエーションが盛んで、コロナ禍前までは納涼祭が一大イベントでした。そし

て盆踊りの太鼓と言えば原藤先生でした。その雄姿を職員も患者様も待望し、太鼓に合わせて盆踊りを楽しみました。コロナ禍以降は病院全体の盆踊りはなくなり寂しい限りですが、昨年はB3病棟の夏祭りで盆踊りを行い、原藤先生の太鼓をまた聴くことができました。ご覧になりたい方は吉祥寺病院 看護部のTikTokでご確認ください。

私が令和3年に看護部長となり、東京精神科病院協会（以下東精協）の看護管理委員会の委員となったため、東精協事務局で年に数回ある会議に参加しています。事務局は、府中看護高等専修学校と同じ建物内にあるため、歴代校長の写真が飾っており、初めて会議に参加した日に写真を拝見しました。そういえば、退職したU看護師が、府中看護高等専修学校在籍時に、原藤先生に助けられて、なんとか卒業したという話を聞いたことがありました。卒業生の中には同じように助けていただき、看護の道へ導いていただいた方が多くいると思います。同じ看護の道を歩むものとして、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



今回、原藤先生とのエピソードを振り返ると、先生からは私たちの背中を押していただいたことが多かったと気づかされました。病院を取り巻く環境は日々変化しています。その変化に対応しながら今年も患者様・ご家族のために、また職員がやりがいをもって仕事に取り組めるよう、原藤先生を見習いながら頑張ります。原藤先生、100歳おめでとうございます！



## 新年のご挨拶にかえて

事務長 根岸 麻矢

あけましておめでとうございます。

昨年の病院での大きなニュースは、院長も記載していますが吉祥寺病院労働組合が解散したことです。長年に渡り、職員の権利を主張するだけでなく（そちらの方が強い時代もありましたが）、より良い病院にするために一緒に考えてきた方々でもありました。私が入職した年に栄養科調理員の多数解雇が告げられました。新人職員としては当然不安になりましたが、今思えば組合側からの情報なので何故そのようなことになったのか、その流れまでは現場の新人である私の耳には届きませんでした。

当時の病院は新入職の職員が少なく、久しぶりの新卒が写真の3人です。OT 2名とPSW 1名。我々同期3人組はこの環境に置かれ困惑しました。しかし、学生気分が抜けていなかったからか、すんなり状況に溶け込んでしまい、放課後のクラブ活動のように終業後組合事務所に詰めていました。

病院中の壁に貼る大量のチラシ作り、昼休みの団結集会、医労連の活動として三鷹駅での署名活動や近隣精神科病院への応援集会、ウグイス嬢もやりました。仕事との境界線もわからず、クラブ活動のように楽しんでいたのを覚えています。強烈な組合活動も収束し、それぞれの専門職としてのアイデンティティも目



覚めた頃、同期のうち1名は地元に戻っていきました。残った2人は仲良く病院の発展に尽力してきましたが20年後には組合の執行部と事務長となり事務折衝で主張しあう間柄になろうとはこの時の写真の二人は知る由もなかったでしょうね（ちなみにOTとPSWですからこの写真は看護師のコスプレだということ）。当然お互い業務外では下の名前で呼び合う仲でした。

組合はなくなりましたが、職員の声が病院側に届かなくなることはあってはなりません。組合がなくなったとほぼ同時に職員意見箱を設置しいつでも職員の声を聴きながら職員と一緒に良い病院を作っていきたいと思っていますので、今年もよろしく願いたします。

さて、今回は原藤名誉院長の100歳記念特集号です。原藤先生が院長だった頃の病院で働いていた私としては担当していた当時の家族会、患者会、巢立ち会とお世話になっていたのは当然ですが、思い出に残っているのは（私的なことで恐縮ですが）私の結婚式で主賓スピーチをしていただいたことです。当時の病院では10年ぶりに職員が結婚する（!）ということで原藤先生、現院長をはじめ、たくさんの方に祝っていただきました。原藤先生は主賓スピーチで「タンポポの話」をしてくださいました。タンポポの綿毛は風に乗ってどこへ行くかわからない、どこへ行ってもおかれた場所でしっかりと根を張り花を咲かせる人になるようにとお話してくださいました。当時の私の環境を踏まえたお言葉だったのでしょ。今でも忘れず私のここに根付いています。

先生これからも変わらず我々を導いてください。100歳おめでとうございます。

# 本能寺からお玉ヶ池へ ～その②⑤(続)～

医局 西岡 暁

金の辨べん こぞりて開く  
福寿草 (阿部みどり女)



著者近影

「じんだい」読者の皆様、あけましておめでとうございます。この年が読者の皆様にとって福さいわいが満ち溢れる年になり、その福ひさが幾ひさしく続きますように！

福寿と云えば、吉祥寺病院では何と言っても原藤卓郎名誉院長の百寿でしょう。原藤先生、誠におめでとうございます。そして昨年の全国的な慶祝事しもんと云えば、大阪大学の坂口志文先生のノーベル賞でしょう。

大阪大学医学部の源流が浪華仮病院であることは前回お話ししました。何故浪華仮病院がここに登場するかと云うと、松本良順が医学所(＝お玉ヶ池種痘所の後身)をポンペに学んだオランダ式の医学校にしたことで「本能寺からお玉ヶ池へ」の【医】の流れを受け継ぎましたが、浪華仮病院を緒方惟準とボードウィンが担ったことによって、その【医】の流れが大阪にも流れて来たことになるからです。惟準は緒方洪庵の息子ですが、医学はボードウィンに学んだのですし、仮病院のスタッフに適塾関係者を採用したとは云え、浪華仮病院への【医】の流れは、適塾からではなく(お玉ヶ池種痘所として創立された江戸の)医学所同様、(長崎)医学伝習所からのものでした。

「本能寺からお玉ヶ池へ」の流れで言えば、緒方惟準は1868年(明治元年)、(お玉ヶ池種痘所の後身)「医学校・大病院」の取締(＝校長兼院長)に就きました。またボードウィンは、1870年(明治3年)夏の2か月間(だけ?)大学東校とうこうで教鞭を取りました。その折学校の移転先として案内された寛永寺(の焼け跡)を見て、

「此の幽邃ゆうすいにして又と得がたい古い樹木のある景勝無類つの地を潰つぶし、折角の美観を形成する大木を

切り倒すなどは無謀の甚だしきものである。」(石黒ただのり忠憲「懐旧九十年」)

と大反対し、工事が始まっていた大学東校の上野移転を阻止し、大学東校は本郷の加賀藩前田屋敷(跡)に移転することになったのです。[14]で述べたように、大学東校はその後4度の校名変更を経て1877年(明治10年)「東京大学医学部」になりました。その間を通して、更には現在に至るまでこの医学校は、江戸時代の種痘所と同じように「鉄門」と呼ばれています。坂口幸世ゆきとし(代々木ゼミナール主幹研究員)はこの歴史を踏まえてこう述べています。

「現在東大が本郷にあるのも、上野公園が存在するのもボードウィンがショートリリーフで講義をさせられたからである。」



ボードウィン博士像  
出典：Yahoo! マップ

そう、「本能寺からお玉ヶ池へ」の流れが、下谷和泉橋通り（の藤堂屋敷）から本郷（の前田屋敷）へと上っていったのは、ボードウィンのお蔭だったのです。その御恩を記念すべきボードウィンの胸像が上野公園にはあります。

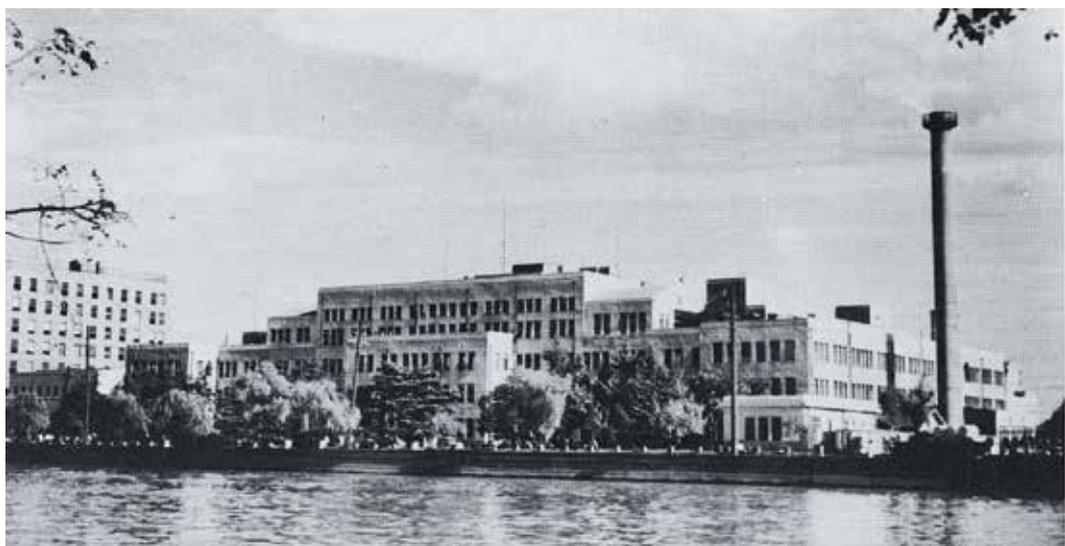
話は飛びますが、江戸の芝愛宕下通り、[15]の真福寺の向いには美作国真島郡旦土村（現・岡山県真庭市旦土）生まれの美作勝山藩医でお玉ヶ池種痘所資金醸出者（の一人）・石井宗謙の住まいがありました。石井宗謙は、シーボルトの鳴滝塾の出身でシーボルトの娘・イネの娘・高子の父（イネをレイプで妊娠させて批判されましたが、開き直って（？）医者をつけた人。）です。宗謙とイネとの娘・高子は、祖母・滝のもとと長崎で育ち、鳴滝塾出身の蘭方医（でシーボルト事件で国外追放となったシーボルトから娘・イネの養育を託された）二宮敬作の姉の息子である三瀬諸淵と1866年（慶応2年）に結婚しました。

「大坂の假病院跡」碑文にあるように、仮病院開院半年の1869年（明治2年）8月、鈴木町代官屋敷跡（@大阪市中央区法円坂2丁目）に大阪府医学校が開校しました。校長は緒方惟準です。1872（明治5）年、学制公布に伴い、大阪医学校は「第四大学区医学校」になりますが、翌年文部省の「医学教育を第一大学区医学校に一元化・集中させる」と

いう方針によって大阪医学校は突然廃校になり、緒方惟準は陸軍に移りました。ここで浪華仮病院から現在の大阪大学医学部への流れは一旦途切れます。

それでも、適塾を生んだ大阪にとって、この【医】の流れをここで途絶えさせる訳にはいきません。翌1873（明治6）年、大阪府は（「北御堂」と呼ばれる）津村御坊（＝本願寺津村別院@大阪市中央区本町4丁目）にあらためて大阪府病院を開設し、医学校に当たる「教授局」を設けました。一方、大阪でボードウィンの通訳を務めた三瀬諸淵は、1874年（明治7年）に第一大学区医学校が「東京医学校」になった時に教官として招聘されました。

1879（明治12）年、中之島常安町（現・大阪市北区中之島4丁目）に移転した大阪府病院は、大阪公立病院と改称し、医学校部門はその後4度の改称を経て1915年（大正4年）府立大阪医科大学と改称（ただこれはあくまでも名称だけの「大学」で旧制大学ではありません。実態は専門学校でした。）し、1919年（大正8年）、大阪医科大学と改称（今度こそ旧制大学です。）しました。[20]で述べたように、京都帝国大学医科大学に遅れること20年の官立医科大学です。そして16年後、その大阪医科大学は大阪工業大学と合併することで遂に「大阪帝国大学」となったのです。京都に遅れること36年、国内では6番目の帝国大学になります。



大阪帝国大学医学部  
出典：ウィキペディア

# 原藤名誉院長の100歳お祝い投稿集

## 原藤先生と私たち

山室京子 + 昔を知る職員有志

私が入職したのは平成15年、2003年春。新患当番となった土曜は午後になると常勤医も薬局も不在……研修を終えたばかりの素人で、ベテラン看護師さんに鎮静のかけ方を教えてもらいその場をしのぐ状態でした。なぜか夕方になると原藤先生が現れ医局のソファで新聞を読んでおられたので、すがる思いでいろいろ相談させていただきました。すでに名誉院長になられていましたが入院患者さんほぼ全員の病状を把握されていて、いつも適切なアドバイスをくださいました。

院長時代の先生は多忙で午前は外来、午後は福祉園や老人ホームへの往診、夕方～夜病棟を回り寝ている患者さんを起こして？インタビューし、時には夜勤の看護師の個人的な相談も聞いていたそうです。夏祭りではねじり鉢巻きと法被姿で太鼓を叩くのが恒例で、先生と一緒に叩きたい、と作業療法で太鼓の練習を始めた患者さんもいました。電気通信大学の学生さんや先生を招いて数か月に1回先生を囲んでのお茶会があり、ケーキも用意され大好評だったそうです。夏も冬も裸足にサンダル姿で病院内を闊歩され、患者さんたちが気の毒がって靴下をプレゼントしてくれるので困った、とおっしゃっていました。山梨の病院での当直はつい最近まで(!)されていて、医局で秘書さんが紅葉マークにガムテープを貼っているのも何か尋ねたら、ベントで山梨まで行く際あまりのスピードで貼っても貼っても飛んで行ってしまうとのことでした。

茶目っ気もおありで、看護学校の遠足で学生とディズニーランドへ行かれたと聞き「若い子たちにモテモテですね」と冗談をいうと「いやあ若い男にはかなわない」と悔しがってみせたり、以前行っていた職員旅行では同室になった男性看護師が冷蔵庫の赤まむしドリンクを差し出すと「僕は引退したから君たち飲みなさい」と言ったとか言わなかったとか……。

かつて入院患者は公共のプールを利用できなかった時代があり、いまは花水木の建つあたりに先生と患者さんたちで穴を掘り鉄筋を組んでコンクリートを流しプールを作ったそうです。外来に呼ばれて診察するとき鉄筋を捻じ曲げた名残でペンを持つ手が震えたとおっしゃっていました。

ベテラン看護師さんいわく「本当に患者に優しい先生です」。偏見も強く地域のサポートも乏しかった頃、患者さんにとって吉祥寺病院は家、原藤先生は家長だったのかも

しれません。畳部屋だったA2病棟で「もう嫌になっちゃうわ、原藤先生に1週間だけって言われて入院したのに、もう5年もたつよ」と言う慢性期の女性患者さんの口ぶりは、ちっとも嫌そうでなかったのが印象に残っています。



## あの頃原藤先生

看護部 山本 昌彦

今の新しいA棟が建つ前、現在のB棟が最新の病棟でその食堂兼ホールからは今はもう無い旧本館が見えていた。私がB病棟に勤務していた頃、ある夜勤で隔離室の患者さんの具合が悪く、それほど重大なことでは無かったが、医師への報告と指示受けが必要になった。医局へ電話しても誰も出ない。本館2階の医局の灯りは点いている。当直医に何かあったかも知れないと思い、医局へ行くとソファに原藤先生が横たわり眠っていた。泥のように眠るとはこのことかと誰もが合点するような様子だった。「電話にも起きないなんて……」と思い先生を揺り起こそうと思ったら電話の受話器がずれているのに気付いた。少し考えて揺さぶるのはやめ、受話器を整え病棟に戻りあらためて医局へ電話した。するとすぐに「ワシだ。なんだ?。」といつものお返事だった。少しホッとしながら報告し、指示を受けた。今と違って医師が5人くらいの時代、原藤先生は院長としていつも裸足で病院を忙しく巡っていて患者さんも職員も幾度も助けられていた。感謝しきれないです。原藤先生ありがとうございました。

写真は東精協50周年祝賀会(1999年)でのひとコマ。ロゴマークコンテストで原藤先生が優勝し、現在の東精協ロゴマークとして採用された。



## ■ 原藤先生 100 歳 ■ お誕生日おめでとうございます！！

B3 病棟師長 涉里 さやか

原藤先生！！ いつも患者さん、スタッフに素敵な笑顔ありがとうございます。原藤先生の笑顔でみんなが元気になります。この写真は原藤先生が今年 B3 病棟の患者さんスタッフのために盆踊り大会で太鼓を叩いてくれた時の貴重な 1 枚です。原藤先生に初めて会う患者さんも原藤先生の華麗な太鼓さばきを見て「先生！！先生！！」と大絶賛しておりました。いつもは病室でふさぎ込んでいる患者さんも原藤先生の太鼓を聞きにホールに出てきて、みんなと一緒に盆踊りを楽しんでおりました。原藤先生には患者さんを動かす魔法の力を感じます。これからも患者さん、スタッフに活力を与えていただけたらと思います。



## ■ 先生は〇〇〇〇が好き ■ ~ Gentleman prefers noodles ~

栄養科 石川 由花

原藤先生、紀寿おめでとうございます。

6 年前、私が吉祥寺病院に入職したばかりの頃、職員玄関の鍵が見つからず、必死になってカバンをひっくり返し、ようやく鍵を見つけたことに気を取られ、職員玄関のドアをあけるやいなや一目散に栄養科事務室を目指してダッシュしようとしたところ

「おい アンタ。タイムカード押さなくて大丈夫か？」飄々とした声がしました。

見るとステッキを手にした、やけに姿勢の良い痩身のお爺さん紳士がいる。

原藤先生とのファーストコンタクトでした。どこか超然とした面持ちに「高齢者に物忘れを指摘されちゃったよ。あの方、見たところ結構ご高齢みただけど何をやってる人だろう？」と当時の科長に件の話をしたところ、毎日、出勤に白いベンツを転がし山梨の精神科病院まで高速で足を延ばす御年 94 歳の現役医師と知り声を上げて驚きました。なんとなくクリント・イーストウッド主演の映画で 90 歳の老人がメキシコ・カルテルの運び屋になる話を思い出しました。

一方、今年 86 歳になる私の父親は厳格な国の役人として、それなりにがんばった人だったのですが、近年、夏の酷暑を懸念した私が出勤前に麦茶を実家に届け、脱水予防に十分な水分摂取を心掛けるよう私なりに誠意を込めた言葉を贈ると、著しい難聴もあってか薄ら笑いを浮かべ白目で起立し甲高い声で「先生！ よく！ わかりました！」後日、昼間から庭で水分代わりにビールを飲み脱水と共に痛風が再発し医療機関へ Papa is a rolling stone. かつての片鱗を微塵も感じさせることがなくなりました。そんな父親に、こんなに豊饒とした一回り以上年上の超高齢現役医師がいると、少しでも見習ってもらえるかもと父親に会うと本日の原藤先生について話すようになりました。

その原藤先生の職員食は他の職員と別になっており、先生の既往や体調に合わせた食種になっています。常食で問題がないようですが、職場で口腔ケアが十分にできないので念のため、より安全な食形態を選んでいらっしゃるそうです。予約のない日に食事をなさる時や遅れる時には、直々に丁寧なお電話をくださるので栄養科スタッフは先生のお食事を心得ており、お食事時間も同じ時間帯であることから、親しみを持って先生の対応に当たっていることが感じられます。先生が何かお困りの様子であれば、速やかに私へ報告があり対応させていただいています。そんなあ

る日、心配顔をしたスタッフから「先生がお食事を召し上がることができないとおっしゃっています！」という報告を受け、問題は食形態かそれともアレルギー物質かしらと思いながら食堂に向かうと原藤先生が申し訳なさそうな顔をして「今日は食欲がないんだ……」今日の昼食はキャンセルしたいということでした。お加減が悪いのだろうか、もしよろしければお粥のセットをご用意しますとの申し出も控えたいとのことで、これは胃を休めたいということなのだろう、お疲れなのだと思います業務に戻りました。約15分後、栄養科事務室の分厚い鉄のドアをノックする音がして、ドアを開けると日〇カップヌードルシーフードを手にした原藤先生が立っていました。「これにお湯入れてくれる？ 職員食堂でお湯入れようと思ったんだけど会議やっていてね。コレ大好きなんだ♡」

私がカップ麺などを食べようものなら意地悪な方からよく「管理栄養士さんがカップラーメン食べるんですかあ？（ドヤ下種顔）」などと揶揄されます。それを恐れて隙を見せまいと、トイレなどには行かないと言い張るアイドルの如く強靱な精神で、或いは水鳥が水面下で必死に足をバタつかせるように己を律する同業者からも、しばしば批判じみた視線を浴びますが、私自身この類の食品摂取に関して「敵前視察ですが何か？ 栄養はバランスですよ？ バランス♡」という姿勢です。そして先生の一連の言動に対し私は「ここに私の理解者がいる！」胸中に温かい何かが溢れる思いがしました。



1997年2月10日 医療功労賞受賞祝賀会 in センター

「……というロックンロールな超高齢現役医師がうちの病院にいるのよ。父さん！」

最近アルコールを止め、興味のない話を無視する父から「あの先生どうしてる？」と聞かれることがよくあります。どうかいつまでもお元気でいてください。先生の知らないところで誰かの元氣になっています。

## ■ 「1人の人」として関わること

相談室 野口 明子

長く原藤先生が主治医をされていた女性患者様のことです。長期入院になりご家族より「ご本人と話し合い、高齢者施設に移してあげたい」との連絡をいただきました。ケースワークを進め、先生に進捗を報告したところ先生は「そんな話は聞いていない」と初めてお聞きするような声色でおっしゃいました。そこから少しの間、口もきいてくださりませんでした。先生が病棟にいらした時に「先生がこの患者様にこれまでどのように関わってこられたのかを教えてくださいませんか？」とお伝えしたところ先生は少し黙った後、長い経過をじっくりと（〇時間位？ 笑）と話してください最後に「本人が退院したいと言ってるんだな？ わかった。」と仰ってくださいました。このエピソードを通じて「患者」ではなく「その人」の人生と向き合っていることを伝えようとしてくださったように思っています。その後の先生はずーっと優しい先生です！



2004年12月17日 病院開業50周年祝賀会にて



2001年11月15日 職員旅行にて



2002年4月22日 旧本館2階で



2008年7月24日 今年もねじり鉢巻きで太鼓を叩く



2012年11月 看護部研修で講師



2013年7月25日  
病院レク盆踊り



2014年2月28日  
米寿のお祝い 金のちゃんちゃんこ



2018年10月26日 東京都功労者（教育功労）表彰授賞



2025年8月 病棟盆踊りで太鼓叩き



2025年11月22日 やすらぎ会（吉祥寺病院家族会）講演 in センター

# 外来担当表

## ● 初診

	月	火	水	木	金	土
第1週	畑	岡田	森	田澤	狩野	西本
第2週	宮崎	西岡	堀江	中村	佐原	池田
第3週	畑	岡田	森	田澤	狩野	西本
第4週	宮崎	山室	堀江	中村	佐原	池田
第5週	畑	岡田	森	田澤	狩野	山室

## ● 再診

	月	火	水	木	金	土
午前	土井 市川 森 田澤	院長 土井 市川 西岡 山室 池田	原藤 森 西岡 山室 岡田 狩野	市川 田澤 山室 畑 宮崎 中村	市川 森 西岡 岡田 畑	森 西岡 山室 狩野 亀山 小島
午後			森(栄)	相馬 西本	森(栄) 塚本(か) 永尾	

**受付時間**

月～金 午前 9時～11時 (初診・再診)  
午後 1時～ 3時 (初診)  
※午後の再診は事前予約の場合受け付けています

土 午前 9時～11時  
午後 入院は受け入れています

当院は「敷地内全面禁煙」です。



調布市深大寺北町 4-17-1

## 編集後記

新年最初の1月号は、原藤先生の特集号としてお届けしました。長年に渡り学会と社会に多大な足跡を残されてきた原藤先生が、めでたく100歳を迎えられたことは多大なる喜びです。次代へつなぐ知恵と温もりを本誌に詰めました。本年も実り多き一年となりますように。

ペンネーム 玉子丼

原藤先生百寿おめでとうございます。先生が家族会の講演を行われるお姿、先生がいつも院内を颯爽と歩かれる後お姿、クリスマスにサンタの格好をして歩かれ患者様方と談笑されるお姿……拝見し私も「今日も頑張って仕事しよう」と奮起しています！

ペンネーム おめでとうオリゴ糖



患者さんの干支の作品